

課題 1.

この機能を利用して、先週の課題であった自分にとってのベスト 5 を、何かの審査委員会に推薦する推薦状として作成、整形する。(別紙に例を示す)

推薦状はビジネス文書のもりで言葉遣い、体裁に注意すること。教科書 page 40 にビジネス文書の構成などについて説明があるので、それらに注意する。最初の一文字目の字下げ、中央寄せ(センタリング)、右寄せや、文字サイズの変更、下線などによって読みやすいよう工夫すること。方法は教科書 page 43-47 などにそれぞれ説明がある。

この課題については次の課題で他の人が再利用するかもしれない。あまりに私的すぎることを書くと、あとで知人が読むことになることにあらかじめ注意すること。課題提出が受け取られれば、もう一部印刷して科目担当者に課題 2. 用として提出すること。

課題 2.

科目担当者から指示された誰かのベスト 5 について、その推薦を受け付けるか受け付けないかを結果報告書の形式で文書化せよ。

ただし、採否についての理由として、WWW でそれらのベスト 5 について何か説明されている WWW ページを検索、引用すること。

自分にとって不向きな内容の推薦書しか科目担当者の手元にはない場合は、自分の出した推薦についての報告書を作る形式でも構わない。

WWW の記述は、たいていの場合 WWW ブラウザから Word へのコピー and ペーストが可能。ただし余分な改行や空白が混じりがちなのでそれらは削除すること。

報告書であることを忘れずに、課題 1. と同様に文言、体裁に注意すること。

平成 13 年 4 月 24 日
基礎実習受講者各位

学生番号：473088
経済学部 榎田雄一郎

映画ベスト 5 の推薦について

ここ一年に観賞した映画について、下記の通りがベスト 5 に相当すると考え、推薦いたします。それぞれについての推薦理由は簡単に下にまとめてありますので参考にさせていただければ幸いです。

なお、この推薦を受けて受賞が決定した場合には、推薦者まで連絡いただきたくあわせてお願い致します。

記

今年の映画ベスト

1. Snatch!
2. スターリングラード
3. Party 7
4. バッファロー66
5. The Cell

1. については単に好みの問題で、カットの気持ち良さから。「パルプ・フィクション」と共通する部分があるが、それ以上。2. は主演の魅力に尽きる。ジュード・ロウは間違いなくスターである。3. 4. はどちらも良いところと悪いところがあり、素直に人に推薦できない部分あり。5. についてはノーコメント。

ところで 2. の戦争シーンについてはかなり恐怖心を煽るもので、そこだけは推薦できない。「プライベート・ライアン」も相当に圧迫感を与える戦争映画であるが、これらの疑似体験が反戦につながればと思うばかりだ。

以上

平成 13 年 4 月 24 日

榎田雄一郎様

学生番号：473088

経済学部 明日田 裕

映画ベスト 5 の推薦結果報告について

標記の件につき、ご提案ありがとうございました。

推薦されておりました映画ベスト 5 について当委員会でも独自に調査いたしましたところ、「The Cell」の評価については下記のようになっております。

出展：

Media Mix Review / written by Yutaka Yasuda

(<http://bakkers.gr.jp/cgi-bin/review-select.cgi/0319>)

この作品世界を作り上げたのが一体誰なのか、実に興味深い。監督はもちろんのこと、少なくとも衣装デザイン（『[ドラキュラ](#)』の石岡瑛子）とオブジェクトのデザイン、そしてカメラの三人は相当深く連携して仕事をしていたと想像する。

個人的な感想ではありますが、私もまったくそのとおりと思われ、榎田様の推薦されたリストについてはまったくそのとおりと感じています。よって当委員会では 2001 年のベスト 5 を、榎田様推薦の下記の 5 つとさせていただきます。ありがとうございました。

今年の映画ベスト

1. Snatch!
2. スターリングラード
3. Party 7
4. バッファロー66
5. The Cell



以上